

おおた社会福祉士会会報

第88号

2016年(平成28年)9月6日発行

発行：おおた社会福祉士会事務局

責任者：平野 悟

連絡先：〒146-0082 東京都大田区池上7-13-14

電話・FAX 03-6410-6051

E-MAIL otachikukai@gmail.com



(メール配信への切り替えをご希望される方は、「お名前」と「メール配信希望」の旨をこちらまでお願いします。)

7月定例会報告

「子どもの学習支援～誰もが互いの違いを認め合って共に生きていく地域社会～」

おおた社会福祉士会会員 丸山 剛央

平成28年7月20日19時より自主学習支援会代表の河合良治氏にお越し頂き、「子どもの学習支援」について、ご講演頂きました。

大田区が「生活保護世帯の中学三年生を対象に、高校進学に向けた学習支援を行うことにより、子ども達がそれぞれの夢に向かい、将来社会で活躍することをバックアップする事業」を助成することになり、そこで河合氏は以前から外国にルーツを持つ子ども達等に学習支援を行っていた経験を基に助成を受け、教室を開き、学習支援を行っている。



学習支援の内容は学校の宿題や復習を中心に行っているが、まずは一人ひとりに目を向けて寄り添うことを大切にしており、時間に遅刻した子どもに理由を聞いたり、叱責をしたりせず、来たことを褒め、来ることを継続させ、子ども達の居場所を作っていく。来なくなると支援は出来なくなるが、来ることにより支援を継続し、学習の楽しさを伝えていく。それにより、始めは紹介されて嫌々来ていたが、徐々に打ち解けて来て、本音を話す様になり、家庭環境のせいで言えなかった「高校進学希望」を伝えてくれ、学習支援を通じて、諦めていた高校進学を果たした子ども達が多く居る。

また、「学習支援」の他に「社会性」を身に付けることも目標にしており、春・夏休みに本物に触れて、自分の確かな目を育ててほしいと美術館見学等も実施している。

一般の学習塾では遅刻をせず来るのが当たり前で、勉強のみを支援しているが、河合氏の教室では、子どもの社会性を養うことまで行っており、一般の学習塾とは異なっている。

最後になるが、河合氏が言われていた「互いの違いを認め合う」という言葉が頭に残っている。

「同じ人間だから違いは無い」等はよく言われることだが、「違いを理解しない」のか「違いを理解した上

で対応する」のかでは、全く異なる結果を生むことだろう。

子どもの貧困が注目される中で、貧困の連鎖を断ち切る為に子ども達が社会で独り立ちするまでの継続したサポートが求められている。

8月定例会報告

「スクールソーシャルワーカー入門」

おおた社会福祉士会会員 岡 高志

スクールソーシャルワーカー入門に参加して勉強しました。会場は椅子を追加するほどの大入りで、関心の高さがうかがえました。

スクールソーシャルワーカーの始まりはアメリカの訪問教師ということで、それならば学校の先生の家庭訪問でもいいのかもと思いましたがどうなのでしょう？

日本では、1950年に高知県で、1962年に京都府で不登校へのケースワークはありつつも、スクールソーシャルワークとしては、第一人者である山下英三郎氏が始め、1999年に日本SSW協会を設立しました。2008年には文部科学省がスクールソーシャルワーカー活用事業として開始しています。

大田区でのスクールソーシャルワーカーは設置3年目。今年度、4名に倍増。昨年度の相談件数は66件。不登校児童への対応が多いそうです。不登校の子どもは大田区全体で約小学生120人、中学生420人。学校の先生に、スクールソーシャルワーカーの存在が認知されているかは定かではないなどの課題が提起されました。

定例会後の懇親会では熱気そのままの熱い議論が交わされていました。



9～10月 定例会のお知らせ

9月 定例会「ダブルケア支援」の取り組み

「ダブルケア」とは「介護」と「子育て」など同時期に複数のケアを一人の担い手「ケアラー」が担うことといいます。在宅介護では介護が必要な対象者に関心が注がれ、同時期に重なる子育ての負担に着目することはあまりありませんでした。また、子育て世代が親の介護の悩みなど共有する場もほとんどありません。ケアラーの多くは「妻・娘・嫁」である女性ですが、縦割り行政の弊害などもあり、相談窓口に恵まれず、孤立しがちな傾向にあります。

今回はダブルケアに担う方々への支援を行っている活動のご紹介と、ダブルケア経験者から私たち社会福祉士に望むことなどをお聞かせ頂く機会としています。定例会後は有志による懇親会の予定です。

とき 9月21日(水) 午後7時～8時30分 **ところ** 大田区消費者生活センター2階 第5集会室

講師 小藪 基司氏(横浜市片倉三枚地域ケアプラザ 主任ケアマネジャー) **参加費** 500円(資料代)

10月 定例会「大田区介護予防・日常生活支援総合事業」 の現状と今後について

本年度から開始された「介護予防・日常生活支援総合事業」について、社会福祉士でもある中原福祉部長をお招きしてご報告いただきます。関連部署の担当者も参加される予定です。意見交換の時間もありますので発言の場としてもご活用ください。

とき 10月19日（水）午後7時～8時30分 **ところ** 大田区消費者生活センター2階 第6集会室

講師 中原 賢一 氏（大田区福祉部長）、その他行政職員

※定例会の後、有志により懇親会を開催します。（講師も参加予定です）

11月以降の定例会・公開講座（予定）

11月「コミュニティ活動のための楽しいお金の集め方講座」

※12月 忘年会 定例会はお休みです。

1月「次年度の活動計画についての意見交換会」

2月 ☆公開講座☆ 「DET（障害平等研修）」（調整中）

3月 おおたTSネットワークとの合同勉強会。「トラブルシューター」「保護司」をテーマに開催。

役員会からのお知らせ

< 7月役員会の報告（7月7日（木）午後7時～ 場所 mics おおた） >

- ・定例会（7～10月度）について
- ・定例会3月度について→開催日程をおおたTSネットワークと調整していく。
- ・公開講座について→DETの開催が可能かどうか、調整をすすめていく。
- ・こらぼ大森から「協働事業にかかる協力について（依頼）」

「協働」と「連携」をテーマにした地域密着型の中間支援の事業を行っている、大田区区民活動支援施設大森（こらぼ大森）から現在行っている協働事業について、事業を実施する8月27日以降3回のヒアリングにより、有償で事業を評価してほしい旨、本会に依頼があった。

→依頼内容の詳細についての確認と、参画希望者の募集をしていく。

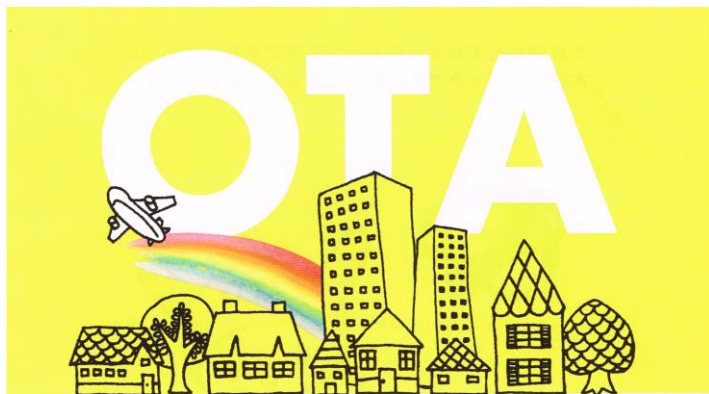
< 8月役員会の報告（集合しての会議はせずに、メールリストで実施） >

- ・9月号の会報の内容について
- ・定例会について（8～9月度）
- ・後援名義申請：おおた福祉フェス2016実行委員会（おおた福祉フェス2016）→後援名義使用を許可
- ・大田区制70周年PRを目的とした地域力応援基金助成の応募について
→成年後見をテーマにした公開講座で申請した。
- ・こらぼ大森から依頼の「協働事業にかかる協力について」
→8月定例会で参画者を再募集。8月27日（土）午後「こらぼの木に名札をプレゼント」活動を視察。
- ・平成28年度会員情報提供（東京社会福祉士会）

データベース160名。データベース外16名（2012～2015年度末退会・資格喪失・他県転出13名、その他3名）

個人情報（CD-R）を東京社会福祉士会から受領。東京社会福祉士会から助成金156,304円を受領。

当会も参加している「おおた区民活動連絡会」がデータブックを発行しています。



あなたのまち 大田区の
区民活動団体データブック

平成 28 (2016) 年度版

おおた区民活動団体連絡会

2016

ふりがな	おおた しゃかいふくし かい	
団体名	おおた社会福祉士会	
ふりがな	ひらの さとる	かいちよう
代表者 (役職)	平野 悟	(会長)
住所	〒146-0082 大田区池上7-13-14	
連絡先	電話番号	03-6410-6051
	FAX番号	03-6410-6051
	電子メール	otachikukai@gmail.com
	団体HP	http://otachikukai.lovepop.jp/
設立年月日	平成 6 年 8 月 1 日	
会員数 *全種別	163 人 ・ 1 団体	
主要メンバー	平野 悟、生駒 友一、中村 一孝	
活動紹介 (実績・予定)	<p>(公社) 東京社会福祉士会に所属する会員で、大田区内に在住または在勤する社会福祉士によって主に構成されている任意団体です。 大田区内における社会福祉士としての専門的技術の研鑽、専門職相互の連携を図り、社会福祉に貢献することを目的として活動しています。 なお、定期的な勉強会や市民公開講座等には、一般区民等どなたでも参加していただき、社会福祉の情報提供と啓発活動をしています。</p> <p>【活動内容】</p> <p>(1) 定例会：毎月第3水曜日(年11回程度) 会場：消費者生活センター 学習会、活動や取組みの発表、会員同士の情報交換等</p> <p>(2) チーム制による課題別活動</p> <p>(3) 役員会：毎月1回(年12回)</p> <p>(4) 公開講座：年1回</p> <p>(5) 広報活動</p> <p>①会報の発行：5月・7月・9月・11月・1月・3月(年6回)</p> <p>②その他：Webサイト、Facebookの運営</p> <p>(6) 関係団体支援、後援等</p>	
団体PR、セールスポイント	東京社会福祉士会の会員にかかわらず、本会の活動に興味のある方は「ネットワーク会員(年会費1,000円)」として入会することが可能です。	

詳細を確認したい方は役員もしくは連絡会にお問い合わせください。

チーム制のあり方について (再掲)

チーム制のあり方については、役員会のトップダウンによって決定していく事柄ではないと考えています。会員のみなさんから「チーム制のあり方」について是非ご意見をお寄せください。個別にメールいただいても構いませんし、メーリングリストに登録されている方はメーリングリストをご活用いただいても結構です。定例会の運営を含め、企画を一緒に考えていく会員を随時募集中です。よろしくお願い致します。

おおた社会福祉士会事務局 otachikukai@gmail.com



←こらば大森の樹名板です！

※カラー写真を掲載した会報をおおた社会福祉士会のホームページで公開しています！こちらぜひご覧ください！⇒
<http://otachikukai.lovepop.jp/>

編集後記 8月の定例会の参加者は講師を含め60人超えとなりました。当日はバタバタと椅子を追加したり、資料が足りなくなったりしましたが嬉しい悲鳴をあげました！役員は頑張っていますが、会員のみなさまの積極的なご参画もお待ちしています！(kazu)